

## JIA 関東甲信越支部 交流委員会 法人協力会員 企業紹介

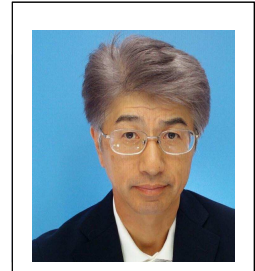
■企業名称：田島ルーフィング株式会社

■担当者：営業本部 営業開発担当 顧問 和智 修

■企業概要：東京都千代田区岩本町3-11-13 田島ビル

電話 03-5821-7711

<https://tajima.jp> wachi@tajima.co.jp



■交流委員会 所属グループ：B グループ

■企業紹介：1919(大正8)年に東京・三河島で建築用アスファルト防水材料を製造・販売する会社として設立。雨から建物を守る防水材料メーカーとして、アスファルト防水材をはじめ、合成高分子系ルーフィングシートやウレタン系防水材などさまざまな商品を取り揃えています。また、床仕上げ材の製造・販売も行い、ビニル床材やカーペットタイル、長尺シートなどを扱いながら、機能も充実させ、さまざまな建物の幅広い用途に応じています。

アスファルト防水は、改良を重ねながら現在も防水材の主流として使い続けられています。当社ではその他にも用途により多岐にわたる商品を取り扱っています。温度特性や耐久性能を高めた改質アスファルトシートは、溶かさず常温で接着できる工法、バーナーでアスファルトを溶かして貼り合わせるトーチ工法などがあります。工期が短い塩ビ樹脂が原料の合成高分子系ルーフィングシートや、複雑な部位でも施工可能なウレタン系の防水材は、改修現場も多く採用されています。

床材は、意匠性高いものはもちろん、病院の手術室で重量物の移動に耐える「移動荷重フロア」など、特殊な場所にも対応する製品を数多く扱っています。また、改修工事で採用されることも多いため、お客様が業務を止めずに施工できる工法も用意。今後は、豊かさや高級感、楽しさをアピールできるような、ニッチだけれどハイレベルなものにも対応しようとしています。



■コメント：当社の理念は「和」「革新」「技術」です。防水材、床材ともに、今後もお客様とのコミュニケーションを大切に、メーカーとして先を見据えた独自の賞品の開発を進め、正会員の皆様にお役に立てるようにご提案していきます。

# 屋上防水に求められる長寿命化への取り組み

建物の長寿命化とTLCC低減を実現しアスファルト防水の最高峰を目指す。

## 時代が求めるインフラの長寿命化

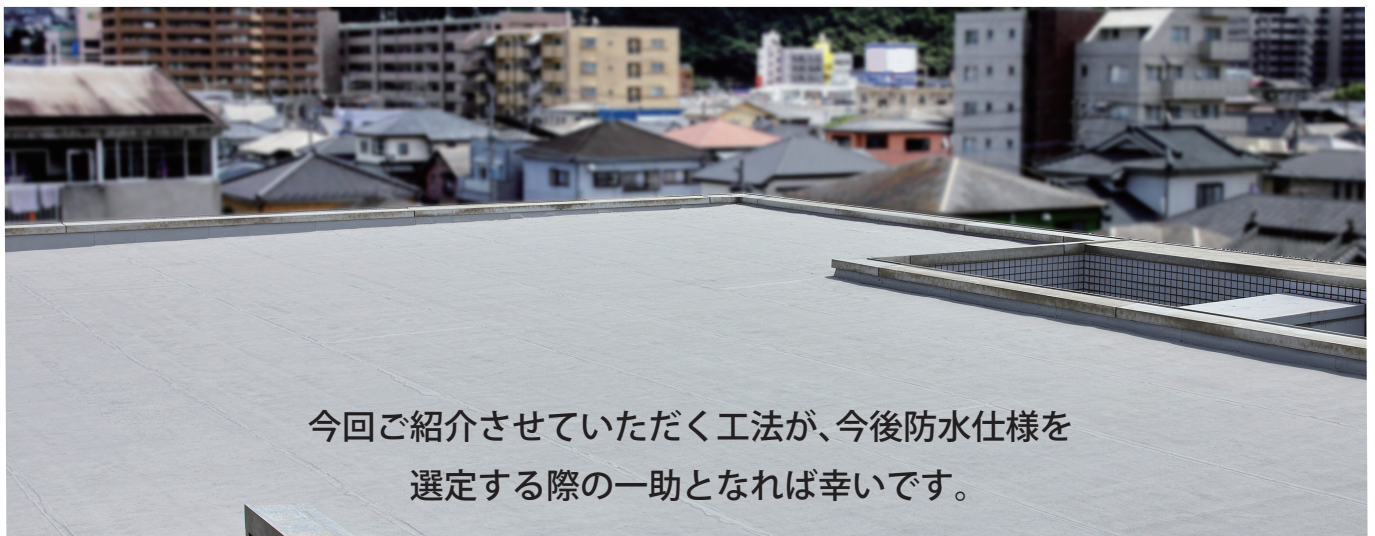
少子高齢化が進む日本において、いかにして社会のインフラを低コストで健全に維持管理していくかは、日本社会が抱える今後の大きな課題です。

これらへの対応策として、今まで比較的早期に建て替えを行っていた建築物を積極的に長寿命化させることで、トータルの維持管理コストを抑えようという試みが官民間問わず実施されてきています。国策としては、平成25年11月に国土交通省が「インフラ長寿命化基本計画」を打出し、地方公共団体は「公共施設等総合管理計画」を策定しています。

この他にも文部科学省の学校施設長寿命化計画やそれに伴う地方自治体による長寿命化への要請は高まりを見せており、この影響は防水にも大きく及びはじめています。

## 高耐久化＝TLCCの低減

建築物長寿命化のために防水が担う役割はなにか？それは防水層がより長持ちすること、すなわち高耐久化です。高耐久なものは一見イニシャルコスト（初期投資）が高くなる傾向のため敬遠されがちですが、建物の総寿命から割り出すと、実は改修サイクルを減らし、普段のメンテナンス費用を抑える効果があることが分かります。高耐久仕様の採用が、TLCC低減につながります。



今回ご紹介させていただく工法が、今後防水仕様を  
選定する際の一助となれば幸いです。